

穴門山神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

式内社とは、延喜式の巻9および巻10の「神名帳」に列する神社のことで、社格を権威づける官社となっている。

延喜式は平安後期の延長5年(927)に撰上され、50巻から成り、朝廷の儀式、行政の実施に関する規範である。当社は延喜式巻10に、備中国18社の中にその名があげられ、朝廷崇敬の神社であったことは事実である。

当社の創立は崇神天皇54年と言われているが、延喜、延長の時代この神社は、備中国下道郡長田山と記されており、その地名にまつわる神々の伝説も多い。倭姫世記という古書によると、崇神天皇から、天照大神のご神体である御鏡を、「何処へおまつりしたらよいかさがしてきなさい」という命を受けた豊鋤入姫命が、紀伊国奈久佐浜宮から備中国名方浜宮（現在の穴門山神社）へ奉遷し、4年間奉斎したと記されている。朝廷の当社に対する崇敬の篤かったことがうかがえる。

祭神は、天照大神、倉稻魂大神（豊受大神ともいう）、そして日本武尊の第2皇子足仲彦命、吉備武彦の娘で日本武尊の妃である穴門武姫命の4柱を併祀している。

社殿は寛永9年（1632）秋焼失したものを、備中松山城主の池田出雲守長常が、寛永14年（1637）再建寄進した。権現造りの建築様式で、特に本殿妻側は懸魚、虹梁、支輪、斗きょう組（斗組）で装飾性が高く、余り県下にその例がなく県指定文化財である。

周囲の社叢は、県指定の天然記念物であり、昭和5年10月、京都大学、田代善太郎先生の調査によると、438種の植物が記録されており、その種類の多いことで注目されている。神木のカツラは、樹齢推定700年、株周囲8.93メートル、樹高30メートルである。

神木は本門そばの石段上の大杉と、境内崖下のカツラである。



[前の写真へ次](#)

基本情報

神社コード 12028

神社名 穴門山神社（アナトヤマジンジャ）

通称名 長田浜宮、赤浜宮、権現様

旧社格 県社

鎮座地 〒714-2321 高梁市川上町高山市1035

電話番号 0866-48-3700

FAX番号

駐車場 有 50台

御祭神 天照皇大神, 倉稻魂神, 穴門武姫命, 足仲彦命

御神徳 五穀豊穰, 交通安全, 殖産興業, 縁結び

主な祭典 4月最初の巳の日: 祈年祭
土用丑の日: 夏越祭
11月3日: 例大祭

宮司宅電話 0866-48-2863

URL

e-mail

特記事項 正月2日の「弓初め祭」1年の禍、厄を祓う神事

氏子地域 高梁市(川上町高山市芋原、川上町高山市横松、川上町高山市松節、和田、川上町高山市上市、中町、川上町高山日向、陰地)

交通アクセス

高梁市から国道313号を福山市方面へ。「地頭」から分かれ「油木町」方面へ。弥高山を右に見て「高山市」(こうやまいち)から北東へ約1km

神事一覧

神楽	祭礼日時:	文化財指定: 無	神事詳細
神儀	祭礼日時:	文化財指定: 無	神事詳細
御奉射	祭礼日時:	文化財指定: 無	神事詳細
夏越祓	祭礼日時:	文化財指定: 無	神事詳細

[検索画面に戻る](#)

